令和５年度における
読書活動推進施策について
（報告）

令和６年６月

秋田県読書活動推進本部

目　　次

Ⅰ　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

Ⅱ　第３次基本計画の概要と施策推進状況・・・・・・・・・・・・・　２

Ⅲ　読書活動推進のための施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

１　家庭における読書活動の推進
（１）県立図書館の利用促進に向けた体制の整備・・・・・・・・・　３
（２）子どもの読書習慣づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
（３）児童会館での子どもの読書活動の推進・・・・・・・・・・・・　５
（４）読み聞かせにお薦めの絵本の紹介・・・・・・・・・・・・・・　６
（５）生涯学習としての読書活動の奨励・・・・・・・・・・・・・・　６
（６）高齢者などへの読書支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
（７）「あきたブックネット」による情報発信 ・・・・・・・・・・・　７

２　学校における読書活動の推進
（１）幼稚園、保育所、認定こども園等・・・・・・・・・・・・・・　８
（２）小学校、中学校、高等学校等・・・・・・・・・・・・・・・・　８
（３）学校図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

３　地域・職場における読書活動の推進
（１）市町村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
（２）民間団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

４　関係機関等との協働による読書活動の推進
（１）秋田県読書活動推進連絡協議会の充実・・・・・・・・・・・　１６
（２）視覚障害者等の読書環境の整備の推進・・・・・・・・・・・　１６
（３）大学図書館と県立図書館の連携強化・・・・・・・・・・・・　１７
（４）県内の大学等との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
（５）外部機関等と連携した図書館利用促進・・・・・・・・・・・　１８
（６）「県民読書の日」の啓発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
（７）「秋田県読書フェスタ」の開催 ・・・・・・・・・・・・・・　２０
（８）県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及・・・・・・・・・・　２０
（９）高齢者への読書活動推奨・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
(10) 書店団体等と連携した読書活動の推進・・・・・・・・・・・　２１
(11) 雑誌スポンサー制度の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

５　指標・実績一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

Ⅰ　はじめに

読書活動は、県民が人生を豊かに生きる上で大切なものであり、文化的で豊かな社会の構築にも寄与することから、県では、「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」（以下「条例」という。）を制定し、平成２２年４月１日から施行している。

また、条例に基づき、平成２３年３月に「秋田県読書活動推進基本計画」（以下「基本計画」という。）を策定し、５年ごとに改定しながら、読書活動の推進に関する施策を総合的・計画的に進めている。

この報告は、条例第４条第２項に基づき、第３次基本計画により令和５年度に実施した施策を県議会に報告するため、その概要を取りまとめたものである。

○ 秋田県民の読書活動の推進に関する条例【抜粋】

（県民読書活動推進基本計画）

第四条　県は、県民の読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、県民の読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「基本計画」という。)を策定するものとする。

２　県は、毎年、基本計画により実施した施策を議会に報告するものとする。

３　県は、必要があると認めるときは、基本計画を変更するものとする。

《　読書活動推進体制　》 令和５年４月１日現在

●秋田県読書活動推進基本計画の進行管理

秋田県読書活動推進本部《知事を本部長とし、各部局長で構成》

●施策の一体的推進

秋田県読書活動推進連絡会
《庁内関係１２課所で構成》

文化振興課	次世代・女性活躍支援課	
長寿社会課	障害福祉課	
教育庁総務課	幼保推進課	義務教育課
高校教育課	特別支援教育課	生涯学習課
図書館	生涯学習センター	

●市町村との協働による推進

秋田県読書活動推進連絡協議会
《県と２５市町村で構成》

市町村企画担当課
市町村教育委員会読書活動推進担当課
県観光文化スポーツ部文化振興課
県教育庁総務課
県教育庁生涯学習課

◎事務局

秋田県読書活動推進本部
（秋田県観光文化スポーツ部文化振興課読書活動・文化芸術推進チーム）
〒010-8572 秋田市山王三丁目１番１号　TEL:018-860-1530 FAX:018-860-3880
E-mail:bunkashinkouka@pref.akita.lg.jp
＊公式ウェブサイト「あきたブックネット」
http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/31730

Ⅱ　第３次基本計画の概要と施策推進状況

１　第３次基本計画の概要

〇計　画　期　間　　令和３年度から令和７年度までの５年間
〇基　本　目　標　　「生涯にわたって読書に親しみ、心豊かに」
〇施策の４つの柱　　１　家庭における読書活動の推進
２　学校における読書活動の推進
３　地域・職場における読書活動の推進
４　関係機関等との協働による読書活動の推進

代表指標	■各世代を通じて「読書が好きだ」と答える県民の割合 ：（Ｒ７）８０％以上 ■各世代を通じて１日３０分以上読書をしている県民の割合 ：（Ｒ７）７０％以上

２　施策推進状況

○　県では、条例に基づき、第１次基本計画（平成２３年度～２７年度）により、県民の読書活動の推進に取り組み、「県民読書の日」の制定や県民参加の読書活動を展開した。

また、市町村立図書館や公民館図書室、学校図書館を拠点とする地域の読書環境の充実に努めたほか、全市町村で「子ども読書活動推進計画」を策定するなどの成果を上げてきた。

○　第２次基本計画（平成２８年度～令和２年度）では、「家庭」、「学校」、「職場」、「地域」という県民の生活の場に応じて、県民の共感を高めながら施策を展開し、読書環境の整備としてスーパーやコミュニティスペースなど県民の身近な所に図書コーナーを設置する取組や、人づくりとして読書活動に携わるボランティアの育成等を進めた。

また、県公式ウェブサイトやＳＮＳ等を活用して読書に関する様々な情報を発信し、県民の読書意欲を喚起した。

○　第３次基本計画（令和３年度～７年度）では、読書は習慣付けが重要であることから、特に子どもの読書活動を積極的に推進するとともに、県民のライフステージ等に応じて、勉学、仕事、余暇活動など生活の様々な場面で気軽に読書をすることができる環境を整備するなど、基本目標である「生涯にわたって読書に親しみ、心豊かに」の達成に向けた施策を展開している。

Ⅲ　読書活動推進のための施策

1　家庭における読書活動の推進

（１）県立図書館の利用促進に向けた体制の整備

①　各世代に対応した読書環境の整備

「子育て情報コーナー」、「えほんのへや」、小学生向け「調べ学習コーナー」、中高生向け「teens’コーナー」、「シニアコーナー」を整備し、各世代の読書の幅を広げ、図書館利用を促進した。４月には、新たな興味や可能性につなげてもらうため、「探してみよう！新しいジブン」と題したteens’資料紹介ミニ展示を行った。

❖参考ＤＡＴＡ
県立図書館の年間購入冊数：（Ｒ５）１４，３６９冊
県立図書館の新規登録者数：（Ｒ５）１，５１５人
県立図書館の年間個人貸出冊数：（Ｒ５）３５３，４７６冊

▲子育て情報コーナー

▲調べ学習コーナー

▲生活支援コーナー（シニア）

②　県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化

県民の多様な読書ニーズに対応するため、各分野の参考資料等の充実を図ったほか、カウンター窓口、電話、メール等で寄せられるレファレンスに的確に対応できるよう、職員研修を実施し体制の整備を図るなど、レファレンス・サービス機能の強化に努めた。

※レファレンス・サービス
図書館で、資料・情報を求める利用者に対して行われる文献の紹介・提供等のサービス。

❖参考ＤＡＴＡ
「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合：
※利用者アンケートは、令和６年度に実施予定（隔年実施）
「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合：
※利用者アンケートは、令和６年度に実施予定（隔年実施）

③　「秋田県立図書館デジタルアーカイブ」の活用促進

県内７施設が所蔵している資料等の情報を「秋田県立図書館デジタルアーカイブ※」により一元的に検索できるようアップロードを進め、県民への情報提供サービスを行った。

※秋田県立図書館デジタルアーカイブ

県立図書館、あきた文学資料館、博物館、近代美術館、埋蔵文化財センター、生涯学習センター、公文書館の全７施設が所蔵する資料の目録や画像情報を一元的に検索できるポータルサイト。

秋田県立図書館デジタルアーカイブ▸

❖参考ＤＡＴＡ
登録データ数（累計）：（Ｒ５）６１７，６７３件
閲覧件数：（Ｒ５）３３，８３４件

④　ウェブサイトやＳＮＳを活用した情報発信

県立図書館の利用促進を図るため、図書館のサービスやイベント等の情報をウェブサイトやFacebookを活用して定期的に発信し、図書館の利用促進を図った。

また、秋田県立図書館YouTubeチャンネルでは、新たに「ビジネス支援コーナー・地方創生コーナーのご案内」と「teens'コーナーのご案内」を作成、公開した。

❖参考ＤＡＴＡ
県立図書館ウェブサイトのアクセス数：（Ｒ５）２５５，２６２件
県立図書館Facebookページのフォロワー数：（Ｒ５）１９０人

◂県立図書館Facebookページ

▲YouTubeチャンネルでの動画配信

（２）子どもの読書習慣づくり

県立図書館では「えほんのへや」や「調べ学習コーナー」のほか、「県子ども読書支援センター※」を設置し、子どもの読書習慣づくりを支援している。

「えほんのへや」では、季節に合わせた月替わりの絵本を展示・貸出するとともに、県子ども読書支援センター支援員（読書ボランティア）による絵本の読み聞かせを行う「おはなしタイム」を毎月第１・３日曜日に開催した。

また、子どもの読書に関する相談を「おはなしタイム」開催時や毎週木曜日に受付

け、訪れた親子にお薦めの絵本を紹介するなど積極的に対応した。
なお、電話やメールでも同様の相談を随時、受付けた。
県立図書館の「調べ学習コーナー」では、４月２３日～５月１２日の「こどもの読書週間」に、読み物を中心とした児童書の展示・貸出しを行い、また、夏休み期間に、夏休みの自由研究等に対応した児童書の展示・貸出しを行うなど、子どもとその保護者に向け図書館の利用を促進した。
また、９月からは、こども家庭庁が実施している「こどもまんなかアクション」の一環として「すこやか読書応援タイム※」をスタートし、子どもや子育て中の方が気兼ねなく利用できる環境づくりに努めた。

※県子ども読書支援センター
子どもの読書活動に関する広報、啓発、調査研究活動や各種イベントの開催を行うことを目的に県立図書館内に設置されている。「えほんのへや」で子どもの読書に関する相談を受け付けるほか、県内の読書ボランティア団体や学校図書館、幼稚園・保育所・認定こども園等を対象に読み聞かせ資料の貸出し等も行っている。

※すこやか読書応援タイム
毎月第１・３日曜日　正午～午後５時

❖参考ＤＡＴＡ
読書相談件数：（Ｒ５）３８４件
おはなし会実施回数：（Ｒ５）２３回
おはなし会参加人数：（Ｒ５）５１２人

◂おはなしタイム

◂すこやか読書応援タイム

（３）児童会館での子どもの読書活動の推進

県子ども読書支援センターが県児童会館図書室に児童書の貸出しを行ったほか、子ども読書アドバイザーが定期的に県児童会館図書室の運営に関する相談等の支援を行い、子どもの読書に親しむ環境の整備を行った。

❖参考ＤＡＴＡ
資料貸出冊数：（Ｒ５）４２０冊

（４）読み聞かせにお薦めの絵本の紹介

親子の読み聞かせを通じて読書の楽しさを広げるため、０歳から小学校低学年までの児童を対象とした読み聞かせに適した絵本を選定し、「あふれちゃんのえほんばこ」として推奨するとともに、毎週土曜日の秋田魁新報読書欄やあきたの結婚・子育て応援情報ウェブサイト「いっしょにねっと。」、Ｘ（旧Twitter）「あきた子育て情報いっしょにねっと」や「あきたブックネット」等で紹介したほか、県児童会館の図書室で選定絵本の貸出しを行った。

▲県児童会館２Ｆ図書室で貸出しを行っている絵本

▲あふれちゃんのえほんばこ２０２３

（５）生涯学習としての読書活動の奨励

県民の総合的な生涯学習講座「あきたスマートカレッジ」の中で、「北条常久特別企画講座」（全６回）を開催し、テーマに沿った作品を紹介するとともに、県立図書館にコーナーを設けてもらうなど、連携した取組も行った。

また、講座受講者が中心となって発足した自主学習グループが、読書に関する講座を開催した。

▲北条常久特別企画講座

▲県立図書館の特設コーナー

（６）高齢者などへの読書支援

「大活字本コーナー」では、小さな活字が読みづらい方のために、大きな活字（大活字）で書かれた本を置いているほか、拡大鏡、老眼鏡、リーディングルーペ等の館内貸出しも行っている。

また、インターネット環境がない高齢者等であっても「ふるさと秋田文学賞」の受賞作品を読むことができるよう、作品本文のコピーを郵送するサービス（送料は本人負担）を行い、１件の利用があった。

活字による読書が困難な高齢者等をサポートするボランティア活動は、リピーターが定期的に利用するなど、一定の需要がある。

❖参考ＤＡＴＡ
電話（対面）朗読ボランティア活用者数：（Ｒ５）１人

（７）「あきたブックネット」（ウェブサイト、ＳＮＳ）による情報発信

若者を中心とした県民の読書意欲を喚起するため、Ｘ（旧Twitter）やウェブサイトを活用し、まちなかＢＯＯＫリーダー（本に関連した特長のある取組を行っている人）の紹介のほか、県議会議員や各分野で活躍している人の「私の一冊」を紹介し、県民の読書活動を推進した。

また、読書に関する様々な情報を随時Ｘ（旧Twitter）で提供し、県民の意識啓発や関係機関との連携を図った。

▲本に関連したお店の取組等をＸ（旧Ｔｗｉｔｔｅｒ）で紹介

▲気になる人（各分野で活躍している人）の「私の一冊」

❖参考ＤＡＴＡ
Ｘ（旧Twitter）「あきたブックネット」のアクセス数：（Ｒ５）６２１，１４３件

2　学校における読書活動の推進

（1）幼稚園、保育所、認定こども園等

①　幼稚園、保育所、認定こども園等における読み聞かせの促進

幼稚園、保育所、認定こども園等の訪問時において、教材としての「絵本」の意義の確認や、子どもが喜んで「絵本」に関わるための環境の構成や援助の在り方のサポートなど、各施設の状況に応じた指導・助言を行った。

また、新規に採用された保育士等を対象に、絵本のもつ役割や読み聞かせへの理解を深められるよう、子どもの発達や興味・関心に応じた意図のある選書、絵本に込められた作者・画家の思いや背景を理解する必要性、子どもにとっての絵本の役割や意味等を学ぶ研修を実施した。

〇新規採用者研修

開 催 日　令和５年１１月１０日（金）　総合教育センター
講　　師　田丸　美穂氏（県子ども読書支援センター・子ども読書アドバイザー）
参加者数　１４５名

❖参考ＤＡＴＡ
新規採用者研修受講者の肯定的評価：（Ｒ５）９５．２％

（2）小学校、中学校、高等学校等

①　子どもの発達の段階に応じた読書活動の推進

ア　小・中学校における取組

教科等の学習における学校図書館の活用や教育活動における読書活動の充実が図られるよう、学校訪問等により指導・援助を行った。

また、ボランティアや児童会図書委員による定期的な読み聞かせ、児童・生徒による書籍の紹介、全校ビブリオバトルの開催等、児童・生徒の発達の段階に応じた読書活動の推進に関わる先進的な取組について情報提供を行うことで、各学校での読書活動を支援した。

❖参考ＤＡＴＡ
＜令和５年度全国学力・学習状況調査＞
「読書が好き」と答える児童の割合（小学校６年生）：（Ｒ５）７４．１％
「読書が好き」と答える生徒の割合（中学校３年生）：（Ｒ５）７２．１％
＜令和５年度秋田県学習状況調査＞
週に１回以上学校図書館等に行く児童の割合（小学校６年生）：（Ｒ５）１３．５％

イ　高等学校における取組

読書への意識啓発と図書委員会※の主体的な活動の充実を図るとともに、家庭科の学習等において、絵本の読み聞かせの実習を奨励するなど、将来、親になったときに子どもに読み聞かせをすることの意義について理解を深めた。

図書館活性化モデル校の先進的な取組について、協議会等で情報共有を図るとともに、学校訪問の機会に情報提供を行った。

※図書委員会

生徒会活動の一つで、学校図書館に関する活動を行う委員会。

❖参考ＤＡＴＡ
１か月に１回以上学校図書館を利用する生徒の割合：（Ｒ５）２２．２％
１か月に本を１冊以上読む生徒の割合：（Ｒ５）５８．１％

ウ　特別支援学校における取組

児童生徒が自分から本に興味をもつような読書環境や読書活動の充実に向けて、学校訪問等で読書活動の大切さや意義について情報提供した。

各校では、図書委員がお薦め本のポップを作成・掲示をし、行事や季節に応じた本のコーナーの設置をしたり、読書週間を設け、読み聞かせや絵本を題材にした動画を制作する等、読書に親しむ取組を行った。

▲紹介コーナー：お薦め図書の展示

また、タブレット型端末を使ってデジタル絵本の利用ができるようにした学校もあり、児童生徒が本に関心をもつきっかけの一つとなっている。

❖参考ＤＡＴＡ
校内の読書環境の整備と改善に毎月取り組んでいる学校の割合：（Ｒ５）８５．７％
図書を活用した他の学校や地域の人々との交流により、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合：（Ｒ５）３１．２％

②　「ビブリオバトル」の普及と大会開催

中高生を対象に、コミュニケーションによって本の面白さや魅力を共有し、読書のきっかけづくりとするため、発表者（バトラー）が紹介したお薦め本の中から、「一番読みたくなった本（チャンプ本）」を参加者全員の投票で決める「ビブリオバトル」を行った。

１０月から１１月にかけて県内７か所で開催した地区大会の中でも、北鹿大会は鹿角市教育委員会と鹿角市立花輪図書館の協力の下、鹿角市立花輪図書館１００周

年事業と同時開催され、より多くの人々に本の魅力を伝える機会となった。

また、地区大会を勝ち抜いた生徒たちが出場した１１月２３日の県大会においては、発表者（バトラー）と参観者との活発なディスカッションにより盛り上がりをみせ、アンケートでは「本の紹介が達者で、一冊に絞るのが難しい」「それぞれ独特の捉え方が興味深かった」「年々面白くなってきた」などの好意的な意見が多く寄せられた。

さらに、県大会の会場で展示している歴代チャンプ本・準チャンプ本に、新たに能代市立能代図書館から提供されたＰＯＰを貼付したり、県大会の様子をオンデマンド配信したりすることで、読書活動の推進とビブリオバトルの更なる周知に努めている。

▲ビブリオバトル秋田県大会に出場した中高生バトラー

▲歴代チャンプ・準チャンプ本の展示

◀ 美の国あきたネット内「ビブリオバトル in AKITA」
(https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/61788)

○開催状況

〈地区大会〉　出場者合計　７１名（中学生３９名、高校生３２名）

地区	月日	会場	出場者数
北鹿	１０月２８日（土）	鹿角市文化の杜交流館コモッセ	中学生　３名、高校生　４名
能代	１１月３日（金・祝）	能代市立能代図書館	中学生　５名、高校生　９名
秋田	１０月１５日（日）	ふれあーるＡＫＩＴＡ	中学生　７名、高校生１３名
由利本荘	１０月１４日（土）	由利本荘市文化交流館カダーレ	中学生　１名、高校生　１名
大仙	１０月２９日（日）	大仙市大曲交流センター	中学生　５名、高校生　０名
横手	１０月２８日（土）	横手市交流センターＹ²ぷらざ	中学生　７名、高校生　２名
湯沢	１１月１１日（土）	湯沢市役所	中学生１１名、高校生　３名

〈秋田県大会〉　１１月２３日（木・祝）　秋田拠点センターアルヴェ

各地区大会代表の１３名（中学生７名、高校生６名）が出場

中学生チャンプ、高校生チャンプは、ビブリオバトル全国大会（活字文化推進会議主催）への出場権を獲得

〇ビブリオバトル 2023 in AKITA（秋田県大会）で紹介された本

【中学生の部】

「俺ではない炎上」（浅倉 秋成／著　双葉社）チャンプ本

「世界から猫が消えたなら」（川村 元気／著　マガジンハウス）準チャンプ本

「残像に口紅を」（筒井 康隆／著　中央公論新社／中公文庫）

「魔導具師ダリヤはうつむかない　～今日から自由な職人ライフ～　１」
（甘岸 久弥／著　ＫＡＤＯＫＡＷＡ／ＭＦブックス）

「ディズニーキャストざわざわ日記」（笠原 一郎／著　三五館シンシャ）

「君のクイズ」（小川 哲／著　朝日新聞出版）

「ぼくが宇宙人をさがす理由」（鳴沢 真也／著　旬報社）

【高校生の部】

「ラノベ古事記　日本の神様とはじまりの物語」
（小野寺 優／著　ＫＡＤＯＫＡＷＡ）チャンプ本

「夏と花火と私の死体」（乙一／著　集英社／集英社文庫）準チャンプ本

「三日間の幸福」（三秋 縋／著　ＫＡＤＯＫＡＷＡ／メディアワークス文庫）

「彼女たちの２０代」（山口 路子／著　ブルーモーメント）

「小説の小説」（似鳥 鶏／著　ＫＡＤＯＫＡＷＡ）

「神様」（川上 弘美／著　中央公論新社／中公文庫）

（３）学校図書館

①　学校図書館の活性化支援

ア　学校訪問による読書活動支援

小・中・義務教育学校、高等学校、特別支援学校合わせて２７校の学校図書館を訪問し、学習活動の支援の在り方や校内の推進体制について指導・助言を行うとともに、特徴的な実践例の紹介や改善のための情報提供を行った。

イ　担当教職員等への研修による支援

小・中・高等学校の司書教諭や学校司書等を対象とした研修会に読書活動指導監等を派遣し、研修支援を行った。

②　県立図書館の学校図書館等への支援

ア　学校図書館の環境整備と研修機会の提供

学校図書館支援用の図書セット資料について、高等学校・特別支援学校の図書担当者からリクエストを受けて更新を行い、児童・生徒の読書環境を整備したほか、生徒の学習等に必要な図書の貸出しリクエストにも個別に応じた。

また、学校図書館の担当職員・図書委員に向けた研修を行うなど、学校図書館の活用が進むよう継続した支援を行った。

〇学校図書館職員等研修会

開 催 日　令和５年７月２６日（水）オンラインでの開催

内　　容　「相手に分かりやすく、伝わりやすい文章とは？」参加校の情報交換
参加者数　教職員・生徒合計　３１名

❖参考ＤＡＴＡ
学校図書館への年間貸出冊数：（Ｒ５）１９，７５２冊

▲学校図書館内の県立図書館コーナー

▲学校図書館職員等研修会

イ　図書館利用と読書への興味・関心を高める取組

小・中・高等学校、特別支援学校のセカンドスクール的利用※は、児童・生徒に対し、図書館の仕事や役割についての理解を深めるとともに、読書に対する関心を高める取組を行った。

また、特別支援学校を対象に、児童・生徒が密を避けた環境で気兼ねなく図書館を利用することで読書への意欲を高め、将来の図書館利用の基礎を学ぶことができるよう「休館日を活用した図書館見学」を実施した。

※セカンドスクール的利用
児童・生徒が学校を離れた場所で、様々な自然体験や社会体験を行う授業で、図書館においては、図書館職員の仕事の体験を行う。

❖参考ＤＡＴＡ
「セカンドスクール的利用等の取組に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合
：（Ｒ５）１００％
「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合
：（Ｒ５）１００％

▲セカンドスクール的利用（職場体験・館内見学）▲

3　地域・職場における読書活動の推進

（1）市町村

①　市町村立図書館等の機能の充実に向けた支援

ア　資料貸出しや情報提供による支援

県立図書館では、市町村立図書館等からの予約資料の貸出しに対応したほか、専用の図書セット資料を準備し、県子ども読書支援センターの資料と併せて貸し出すなどにより、住民の図書館利用や読書活動を支援した。

また、市町村立図書館等を訪問して図書館運営・サービスに関する相談への助言等を行った。

❖参考ＤＡＴＡ
市町村立図書館等の年間個人貸出冊数：（Ｒ５）２，１６８，５８４冊
市町村立図書館等への年間貸出冊数：（Ｒ５）１７，７６０冊
市町村立図書館等の相談件数：（Ｒ５）１０１件

▲セットを活用した図書館内の展示

▲市町村立図書館向けセット

イ　市町村立図書館等職員の育成

集合研修では、初任者研修の他、図書館資料の電子化やメタバースについて、図書館で利用できるデータベース等、時勢に沿ったテーマで研修を行った。

派遣研修では、資料の収集と蔵書構成、資料の修理と保存、レファレンス・ツール等のメニューを用意し、市町村立図書館からの要望に応じて実施した。

❖参考ＤＡＴＡ
「満足した」と答える参加者の割合：（Ｒ５）９７．４％

▲初任者研修会：児童サービス
（読み聞かせの実演）

▲市町村立図書館等職員研修会

ウ　課題解決のための読書や図書館利用の促進

県立図書館や市町村立図書館等において、健康や介護、法律など生活や仕事に関する課題のほか地域課題の解決に向けた資料整備を行うとともに、関係機関のパンフレットを提供することなどにより、関連コーナーの充実を図った。

また、市町村立図書館等に対し、他館で実施されている課題解決支援サービスについての情報提供を行った。

▲県立図書館閲覧室内にある
「ビジネス支援コーナー」

❖参考ＤＡＴＡ

「取組を知っている」と答える利用者の割合：
※利用者アンケートは、令和６年度に実施予定（隔年実施）

「取組に満足している」と答える利用者の割合：
※利用者アンケートは、令和６年度に実施予定（隔年実施）

市町村立図書館等のサービス実施館数：（Ｒ５）５７館

②　「子ども読書の日」の周知と取組の推進

４月２３日の「子ども読書の日」啓発ポスターを幼稚園や学校、社会教育施設等に配布して周知を図るとともに、各市町村に対し「子どもの読書週間」における子どもが読書に親しむイベントの実施を働き掛けた。

２０２３年度「子ども読書の日」ポスター▸

※子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」で４月２３日が「子ども読書の日」と定め

られている。
これは、シェイクスピア（イギリス）とセルバンテス（スペイン）の命日である４月２３日をユネスコが「世界・本と著作権の日」と宣言していることにちなむ。

❖参考ＤＡＴＡ
実施市町村数と取組件数：（Ｒ５）２１市町村１２４件

（２）民間団体

①　読書ボランティア等への支援

市町村立図書館や学校図書館等において、読み聞かせ等を行うボランティアを養成するための研修を県内３地区で実施した。

各地域で活動している読み聞かせボランティアを講師に迎えることで、講座修了後の参加者の活動についてサポートできるようにした。

高校生６３名のほか、読み聞かせボランティア、放課後児童支援員といった、実際に読み聞かせ活動をしている方の受講があり、これから子どもの読書活動を推進していく若い世代の養成と、既に子どもの読書活動に携わっている方々の読み聞かせ技術の再確認やスキルアップの機会となった。

また、令和４年度に引き続き、受講後の活動に役立てられるよう、０歳から小学校低学年までの子どもへの読み聞かせに適した絵本を紹介したリーフレット「あふれちゃんのえほんばこ」（県次世代・女性活躍支援課作成）を講師と受講者に配付し、併せて県子ども読書支援センターの利用について案内した。

〇読み聞かせボランティア養成講座

地区	月日	会場	参加者数
県北	８月２６日（土）・２７日（日）	大館市立栗盛記念図書館	２２名
県央	８月　６日（日）・　７日（月）	秋田県立図書館	２８名
県南	８月　７日（月）・　８日（火）	横手市交流センターＹ²ぷらざ	３９名

▲県北地区

▲県央地区

▲県南地区

読み聞かせボランティア養成講座の様子

②　読み聞かせ団体等への活動支援

県内の読み聞かせ団体等の活動を支援するため、県立図書館と県子ども読書支援センターからボランティア団体等へ資料を貸し出した。

❖参考ＤＡＴＡ
県立図書館からボランティア団体等への資料貸出し：（Ｒ５）９３４冊
県子ども読書支援センターからボランティア団体等への資料貸出し
：（Ｒ５）６，７５７冊

▲子ども読書支援センター資料

▲様々な種類の読み聞かせ資料

４　関係機関等との協働による読書活動の推進

（１）秋田県読書活動推進連絡協議会の充実

「秋田県読書活動推進連絡協議会」の全体会を開催し、県民の読書環境の充実に向けた意見交換や優良事例の共有を行い、県と市町村が協働して地域における読書活動の推進に取り組んだ。

〇令和５年度秋田県読書活動推進連絡協議会の概要

［構成］　市町村　企画担当課長、教育委員会読書活動推進担当課長
　　県　　文化振興課長、教育庁総務課長、生涯学習課長
［活動］　全体会　令和５年１１月３０日（木）　書面開催
［役員］　会長　　文化振興課長
　　副会長　北秋田市生涯学習課長、五城目町生涯学習課長、
　　仙北市生涯学習課長（任期２年）

（２）視覚障害者等の読書環境の整備の推進

①　視覚障害者等の図書館利用に係る体制の整備

県立図書館内の読書バリアフリー環境の整備を進めるため、マルチメディアデイジー図書※、さわる絵本、手話の本等を整備し関連資料の充実を図った。

また、サピエ図書館※に加入し、視覚障害のある方や活字による読書が困難な方に対するサービスの拡大を図った。

※デイジー図書

デイジー（ＤＡＩＳＹ）とは、「Digital Accessible Information System」の略で、デジタル録音図書の国際標準規格のこと。デイジー図書は、通常の印刷物を読むこと

が困難な視覚障害者等を対象に、カセットテープに代わるものとして、この規格により開発されたデジタル録音図書。

※サピエ図書館

全国視覚障害者情報提供施設協会が運営。インターネットを通して、点字図書や録音図書をダウンロードして読むことができる。

❖参考ＤＡＴＡ

「障害者サービスを知っている」と答える利用者の割合：

※利用者アンケートは、令和６年度に実施予定（隔年実施）

障害者サービス利用登録者数（累計）：（Ｒ５）２人

▲県立図書館閲覧室内のバリアフリーコーナー

▲サピエ図書館紹介チラシ

②　視覚障害者等の秋田県点字図書館の利用に係る体制の整備

障害者の読書機会の充実を目指して、県点字図書館においてボランティアを中心に点字図書や音声図書等の製作を行い、視覚障害者への図書提供サービスの向上に努めた。

❖参考ＤＡＴＡ

点字図書・音声図書等の製作数・貸出数（Ｒ５）

製　作　　点字図書　：２４６タイトル　　音声図書　：　　１７７タイトル

貸出し　　点字図書　：３９８タイトル　　音声図書　：６，０２３タイトル

定期刊行物：８，９９９タイトル

（３）大学図書館と県立図書館の連携強化

県立図書館と相互協力協定を締結している大学図書館（秋田大学・秋田県立大学・国際教養大学）との間で、各館の所蔵資料を利用者が活用できるよう、相互貸借を推進した。

また、オンライン会議システムを活用して各施設の情報や最新の話題等を共有し、相互に情報交換を行った。

❖参考ＤＡＴＡ
大学図書館との相互貸借の年間貸出冊数：（Ｒ５）１７３冊
大学図書館との相互貸借の年間借受冊数：（Ｒ５）　３１冊

（４）県内の大学等との連携

大学生の読書への興味・関心を高めるため、秋田大学生・秋田大学生活協同組合手形店と連携し「読書感想画コンクール」を実施したほか、県が主催する読書啓発イベントの運営に学生が参画した。

▲大学生が企画実施した「読書感想画コンクール」チラシ

（５）外部機関等と連携した図書館利用促進

県立図書館の情報提供機能を一層充実させるため、県の関係機関等と連携した展示等を行った。

また、県立図書館の所蔵する資料が、県立図書館以外でも利用できるよう連携先の団体へ貸出しを行い、県立図書館コーナーの設置や定期的な図書の展示等を行った。

❖参考ＤＡＴＡ
外部機関等への貸出冊数：（Ｒ５）２，３９９冊
イベントの開催回数：（Ｒ５）５１回

▲埋蔵文化財センターと連携した特別展示

▲県議会図書室への貸出し・展示

（６）「県民読書の日」の啓発

○「第１０回ふるさと秋田文学賞」の実施

県民の読書に親しむ気運を高めるため、１１月１日の「県民読書の日」記念事業として創設された「ふるさと秋田文学賞」を実施し、受賞作品集を刊行した。

●受賞作品

【小説の部】

《ふるさと秋田文学賞》

星空に、へばな　　牧野　恒紀（東京都杉並区）

《同　佳作》

男鹿の花嫁　　中村　　均（岩手県滝沢市）

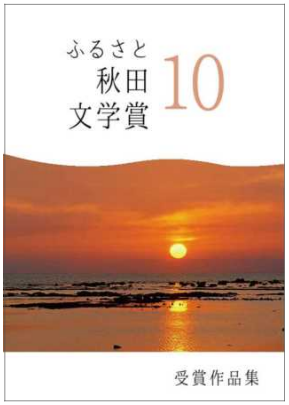
【エッセイ・紀行文の部】

《ふるさと秋田文学賞》

該当作なし

《同　佳作》

秋田美人は背中美人　　榎木　由紀子（大阪府枚方市）



第１０回ふるさと秋田文学賞受賞作品集▲

●応募状況

応募作品数　１４１点

（小説６９点　エッセイ・紀行文７２点、県内４５点　県外９５点、国外１点）

受賞作品はウェブサイト「あきたブックネット」上にＰＤＦで掲載したほか、特設サイト「let’s be 読書の杜あきた」上では、受賞作品を電子ブック形式で掲載し、読書の楽しさを伝えた。

また、秋田をテーマとするこの賞にちなみ、県内市町村の協力を得て、過去の受賞作品パネルと作品に取り上げられた“秋田”の観光ポスターを併せて展示する企画展「ふるさと秋田文学賞で秋田を巡る」を１１月８日から１１月１９日まで、あきた文化交流発信センターで開催した。

◂「ふるさと秋田文学賞で秋田を巡る」展示

○トークライブイベントの実施

「県民読書の日」に合わせた１１月５日、読書と親和性があり知名度が高いタレントの古市憲寿さんをゲストに迎え「古市さんと読書の杜トークライブ」を開催した。

なお、トークライブイベントに参加できなかった県民のために、イベント中は特設サイト「let’s be 読書の杜あきた」でその様子を動画配信し、イベント終了後は、新聞紙上や特設サイト上にその概要を掲載した。

また、イベント会場では、県の取組紹介のパネル展示や本の交換会ブースの設置、秋田県書店商業組合の出店など、読書に関する多様な催事を行った。

▲古市さんと読書の杜トークライブ

▲県の取組を紹介したパネル展示

❖参考ＤＡＴＡ
「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合：（Ｒ５）７１．６％

（７）「秋田県読書フェスタ」の開催

１１月１日の「県民読書の日」を含む１０月１４日（土）から１１月１１日（土）までの前後約２週間を「秋田県読書フェスタ」期間とし、県主催事業として中学生・高校生ビブリオバトル大会等を開催した。

そのほか、市町村の図書館・公民館等では、子どもから大人まで幅広い世代の県民が読書に親しむ機会をもてるよう、工夫を凝らした図書展示や選書体験、外国語での読み聞かせ、本や雑誌のリサイクルなど様々な読書イベントが行われた。

❖参考ＤＡＴＡ
実施市町村数と取組件数：（Ｒ５）１８市町村２３７件

（８）県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及

子どもたちの身近な場所での読書環境づくりや、大人の読み聞かせを進めるため、県民から寄贈された絵本や児童書を手入れした上で、配付を希望する保育所や児童クラブ等へ届け、読書の楽しさをリレーする取組を行った。

「読んだッチ・リレー文庫」のポスター▶

❖参考ＤＡＴＡ
リサイクル文庫の設置先数（累計）：（Ｒ５）９３７か所

（９）高齢者への読書活動推奨

Ｘ（旧：Twitter）「あきたブックネット」上で読書のバリアフリーに関する情報提供を行った。

❖参考ＤＡＴＡ
「１日平均３０分以上読書をしている」と答える７０歳以上の割合：（Ｒ５）５２．１％

(10) 書店団体等と連携した読書活動の推進

○「あきた読書de若者応援キャンペーン」の実施

若者層が読書に向かうきっかけとするため、県内書店において対象書籍（文学・文芸等）購入時に使用できる１，０００円相当の図書購入補助券４００枚を２回に分け発行し、１８歳～３９歳の対象者に配布した。

また、特設サイト「あきた読書de若者応援キャンペーン」上では、岡部大さん（ハナコ）の読書に関するインタビュー記事を掲載したほか、キャンペーン広報のために開設した特設ＳＮＳを活用してユーザーのお薦め本を募集しそれを紹介するなど、読書への関心を促した。

▲読書応援プレミアムクーポン券（図書購入補助券）見本

▲特設ＳＮＳでの広報及びユーザーのお薦め本の紹介

○「あきたレビュー大賞２０２３」の実施

本の書評を募集し、優秀な書評を表彰する「あきたレビュー大賞２０２３」を開催し、県内書店等の協力を得て、書評募集の広報や受賞書評の周知を行った。

受賞書評は選考委員の講評とともに新聞紙上に掲載したほか、「あきたブックネット」及び特設サイト「let's be 読書の杜あきた」にも掲載するなど、様々な方法によって周知をすることにより、読書意欲の喚起を行った。

▲あきたレビュー大賞２０２３の書評募集チラシ

▲あきたレビュー大賞２０２３受賞書評紹介のＰＯＰ

（11）雑誌スポンサー制度の充実

民間企業等が雑誌スポンサー※となって、県立図書館や市町村立図書館へ雑誌の提供を行い、雑誌コーナーの充実を図った。また、県立図書館ではスポンサー企業に図書館資料の選定に当たって協力依頼し、各企業の専門的な知識を生かした資料の購入を行った。

県立図書館では、寄贈雑誌のカバーでの広告のほかに、雑誌スポンサー紹介コーナーでのスポンサー企業の紹介展示等を行っている。

※雑誌スポンサー

図書館の雑誌に民間企業等の情報発信を組み込み、雑誌コーナーの充実を図ることを目的とした雑誌寄贈の制度。選書は図書館で行い、スポンサー企業は購入費を負担する。対象となる雑誌に専用カバーを取り付け、スポンサーとなっている企業名や広告を表示するなどの方法で、企業活動を図書館利用者に周知することができる。

❖参考ＤＡＴＡ
公立図書館（県立図書館・市町村立図書館等）のスポンサー企業数：（Ｒ５）７６企業

▲雑誌コーナー

▲雑誌スポンサーが選書した資料の紹介展示

5　指標・実績一覧

	施　　策	効果測定項目	R2基準値	R5実績値	R7目標値	ページ
1	各世代に対応した読書環境の整備	県立図書館の年間購入冊数	（R元） 14,063冊	14,369冊	15,000冊	3
2		県立図書館の新規登録者数	（R元） 2,067人	1,515人	2,300人	3
3		県立図書館の年間個人貸出冊数	（R元） 361,658冊	353,476冊	400,000冊	3
4	県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化	「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合	（R元） 53.1%	隔年調査	60.0%	3
5		「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合	（R元） 84.0%	隔年調査	90.0%	3
6	「秋田県立図書館デジタルアーカイブ」の活用促進	登録データ数（累計）	（R元） 605,687件	617,673件	615,000件	4
7		閲覧件数	（R元） 33,557件	33,834件	40,000件	4
8	ウェブサイトやＳＮＳを活用した情報発信	県立図書館ウェブサイトのアクセス数	（R元） 235,195件	255,262件	270,000件	4
9		県立図書館Facebookページのフォロワー数	（R元） 118人	190人	500人	4
10	子どもの読書習慣づくり	読書相談件数	（R元） 332件	384件	350件	5
11		おはなし会実施回数	（R元） 23回	23回	24回	5
12		おはなし会参加人数	（R元） 663人	512人	720人	5
13	児童会館での子どもの読書活動の推進	県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数	（R元） 593冊	420冊	1,000冊	5
14	高齢者などへの読書支援	電話（対面）朗読ボランティア活用者実数	（R元） 22人	1人	50人	7
15	「あきたブックネット」による情報発信	Ｘ（旧Twitter）「あきたブックネット」のアクセス数	（R元） 1,510,644件	621,143件	2,100,000件	7
	家庭における読書活動の推進　　計１５項目					
16	幼稚園、保育所、認定こども園等における読み聞かせの促進	新規採用者研修受講者の肯定的評価	90.0%	95.2%	93.0%	8
17	小・中学校における取組	「読書が好き」と答える児童の割合（小学校６年生）	（R元） 82.0%	74.1%	82.0%	8
18		「読書が好き」と答える生徒の割合（中学校３年生）	（R元） 76.6%	72.1%	80.0%	8
19		週に１回以上学校図書館等に行く児童の割合（小学校６年生）	（R元） 23.9%	(13.5%)	30.0%	8
20		週に１回以上学校図書館等に行く生徒の割合（中学校３年生）	（R元） 7.6%	調査中止	20.0%	－

※19　週に１回以上学校図書館等に行く児童の割合（小学校６年生）は参考値。（国調査がR2で終了したため、同じ内容の県調査から引用）

	施　　策	効果測定項目	R2基準値	R5実績値	R7目標値	ページ
21	高等学校における取組	１か月に１回以上学校図書館を利用する生徒の割合	20.1%	22.2%	40.0%	9
22		１か月に本を１冊以上読む生徒の割合	61.4%	58.1%	70.0%	9
23	特別支援学校における取組	校内の読書環境の整備と改善に毎月取り組んでいる学校の割合	（R元） 73.0%	85.7%	95.0%	9
24		図書を活用した他の学校や地域の人々との交流により、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合	（R元） 60.0%	31.2%	95.0%	9
25	学校図書館の環境整備と研修機会の提供	学校図書館への年間貸出冊数	（R元） 18,169冊	19,752冊	20,000冊	12
26	図書館利用と読書への興味・関心を高める取組	「セカンドスクール的利用等の取組に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合	（R元） 90.2%	100.0%	100.0%	12
27		「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合	（R元） 100.0%	100.0%	100.0%	12
学校における読書活動の推進　　計１２項目						
28	資料貸出しや情報提供による支援	市町村立図書館等の年間個人貸出冊数	（R元） 2,371,796冊	2,168,584冊	2,500,000冊	13
29		市町村立図書館等への年間貸出冊数	（R元） 21,319冊	17,760冊	23,000冊	13
30		市町村立図書館等の相談件数	（R元） 125件	101件	220件	13
31	市町村立図書館等職員の育成	「満足した」と答える参加者の割合	（R元） 98.3%	97.4%	100.0%	13
32	課題解決のための読書や図書館利用の促進	「取組を知っている」と答える利用者の割合	（R元） 65.5%	隔年調査	80.0%	14
33		「取組に満足している」と答える利用者の割合	（R元） 64.0%	隔年調査	80.0%	14
34		市町村立図書館等のサービス実施館数	（R元） 56館	57館	60館	14
35	「子ども読書の日」の周知と取組の推進	実施市町村数と取組件数	25市町村 176件	21市町村 124件	25市町村 200件	15
36	読み聞かせ団体等への活動支援	県立図書館からボランティア団体等への資料貸出	（R元） 713冊	934冊	800冊	16
37		県子ども読書支援センターからボランティア団体等への資料貸出	（R元） 5,648冊	6,757冊	6,000冊	16
38	企業内文庫の普及啓発	「１日平均３０分以上読書をしている」と答える２０～６０歳代の割合	40.7%	38.0%	70.0%	－
地域・職場における読書活動の推進　　小計１１項目						

	施　　策	効果測定項目	R2基準値	R5実績値	R7目標値	ページ
39	視覚障害者等の図書館利用に係る体制の整備	「障害者サービスを知っている」と答える利用者の割合	－	隔年調査	50.0%	17
40		障害者サービス利用登録者数（累計）	－	2人	50人	17
41	視覚障害者等の秋田県点字図書館の利用に係る体制の整備	図書の製作数	（R元） 294タイトル	423タイトル	350タイトル	17
42		図書の貸出数	（R元） 7,408タイトル	6,421タイトル	7,700タイトル	17
43	大学図書館と県立図書館の連携強化	大学図書館との相互貸借の年間貸出冊数	（R元） 303冊	173冊	350冊	18
44		大学図書館との相互貸借の年間借受冊数	（R元） 52冊	31冊	60冊	18
45	外部機関等と連携した図書館利用促進	外部機関等への貸出冊数	（R元） 1,388冊	2,399冊	1,500冊	18
46		イベントの開催回数	（R元） 61回	51回	60回	18
47	「県民読書の日」の啓発	「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合	（R元） 84.8%	71.6%	90.0%	20
48	「秋田県読書フェスタ」の開催	実施市町村数と取組件数	21市町村 197件	18市町村 237件	25市町村 200件	20
49	県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及	リサイクル文庫の設置先数（累計）	（R元） 853か所	937か所	1,050か所	20
50	高齢者への読書活動推奨	「１日平均３０分以上読書をしている」と答える７０歳以上の割合	56.6%	52.1%	70.0%	21
51	雑誌スポンサー制度の充実	公立図書館（県立図書館・市町村立図書館等）のスポンサー企業数	（R元） 80企業	76企業	90企業	22
関係機関等との協働による読書活動の推進　　計１３項目						

© 2015 秋田県んだッチ